

平成27年度生きる力実現・学校力パワーアップ事業報告書

学校名 文京区立 昭和小学校

校長名 河瀬 正

対応すべき課題	取組状況	成果	今後の課題
確かな学力の向上	○7/6 標準学力検査実施2年3年 ○読書タイムを設定・100冊文庫の継続	○個人の学力差がよく分かり学級の実態把握に役立った。○「先生のお薦め本」100冊文庫は興味深く本に親しむことができた。	○個々のつまづきが判りづらいので振り返りがしにくい。○空間活用を工夫し、図書支援員の助言を生かしていく。
教師の指導力の向上	○授業研究 5.6.7.10.11.12.1月実施・大学教員による人権教育と学級経営研修会実施・アサーションレニング	○学習規律・規範意識・自尊感情の向上・伝え合いスキルの向上 ○言語活動の効果的活用、教師の人権感覚の向上	○人権意識の客観的検証を進める。○課題意識を高める教材の開発
特色ある学校作り	○邦楽教室の実施 ○鼓笛活動の継続	○日本古来の伝統的な和楽器の音色の美しさと演奏体験ができた。○本校の伝統的教育活動の継承	○鑑賞体験と実技体験の時間の確保○楽器類の補充修繕、充実
総合的な学習の時間の充実	○和太鼓演奏会の実施	○邦楽教室とは違った迫力ある演奏に和楽器の奥深さを感じることができた。	○民族音楽(東アジア地域)の演奏会も取り入れていく。
不登校・いじめ対策	○QU調査3.5年生で実施	○学級での子供の状況, 思いが掴め学級経営の方向を定めることができた。○調査の結果により満足度の低い児童を把握できた。学級改善、子供へのアプローチを考えるとときに役立った。	○年1回の実施のためその後どのように変わったか確認することができない。できれば年2回実施し子供や学級の変容を見定めたい。5.12月。結果の報告を早めてほしい。
体力向上	縄跳び運動・持久走活動の実施 継続	継続的に縄跳びや持久走を行うことで体力の向上につながった。休み時間も進んで縄跳びペース走に取り組み体を動かすようになった。学期ごとに課題を持って運動朝会で体力向上を目指した取り組みをしてお子供意識が高まっている。	・計画的継続的に行わなければ体力向上には繋がらない。1年間の取り組みの成果について次年度の体力テストの結果を基に検証していく。ペース走の改善に取り組んでいく。
家庭地域との連携	学校支援地域本部の推進	・しょうわっ子クラブとして、火、木の15時35分から16時30分まで実施。水、金は朝遊びを実施(7時45分～8時15分)	・地域支援本部スタッフの充実が緊急課題である。